

SDS(安全データシート)

作成日:2017/2/17

1.製品及び会社情報

製品名 : ドラクリーン
会社名 : 株式会社ピュアソン
住所 : 東京都豊島区池袋2-63-4
担当部門 : 品質管理部
担当者 : 石田智洋
電話番号 : 03-5960-3121
FAX番号 : 03-5960-3128
整理番号 : F12L001
推奨用途および
使用上の制限 : 皮膚接触用途に使用してはならない
焦げ油汚れ落とし

2.危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

引火性液体 : 分類できない
自然発火性液体 : 分類できない
自己発熱性化学品 : 分類できない
水反応可燃性化学品 : 分類できない
酸化性液体 : 分類できない
有機過酸化物 : 分類できない
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性-経口 : 分類できない
急性毒性-経皮 : 分類できない
急性毒性-吸入(気体) : 分類できない
急性毒性-吸入(蒸気) : 分類できない
急性毒性-吸入(粉塵/ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性/刺激 : 区分1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
環境に対する有害性:
水性環境急性有害性 : 分類できない
水性環境慢性有害性 : 分類できない

GHSラベル要素:

絵表示またはシンボル:



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
: H371 呼吸器系の障害のおそれ

注意書き:

安全対策 : P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
: P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: P260 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
: P264 取り扱い後は手、顔をよく洗うこと。
: P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

:P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 :P301+P330+P331 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
:P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
:P303+P353+P361 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
:P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
:P305+P338+P351 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
:P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
:P362+P364 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管 :P405 施錠して保管すること。

廃棄 :廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
:廃棄物に関し不明な点がある時は所轄の自治体に問い合わせること。

3.組成および成分情報

単一/混合物 :混合物

成分

No.	成分名	CAS No.	含有率
1	非イオン界面活性剤	-	1%
2	アルキル硫酸エステルナトリウム	-	1.5%
3	水酸化カリウム	1310-58-3	5%未満
4	水酸化ナトリウム	1310-73-2	
5	グリコール系溶剤	-	-
6	金属封鎖剤	-	-
7	色素	-	-

4.応急措置

吸入した場合 :蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移動し呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 :付着物を布で素早く拭き取る。外観に変化が見られたり、刺激痛がある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。汚染した衣類は脱ぎ去り、患部を多量の清浄な水でよく洗う。皮膚に付着した場合は多量の水で洗

目に入った場合 :直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合 :誤って飲み込んだ場合には安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物が気管に流入しないように注意する。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

・換気を行う

・応急措置作業の際には、「8.ばく露防止及び保護措置」の項に記載する保護具を着用する。

5.火災時の措置

消火剤 :大量の噴霧水、泡薬剤、粉末消火剤、二酸化炭素

特有の消火方法、消火を行う者の保護

- ・可燃性の物を周囲から素早く取り除く。
- ・指定された消火剤を使用すること。
- ・高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・消火作業は風上から行う。
- ・延焼の恐れが無いよう水スプレーで周辺を冷却する。
- ・状況によって防火服・耐熱服を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置 : 周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。作業の際には、「8.ばく露防止及び保護措置」の項に記載する保護具を着用する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。屋外の場合、風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 : 河川への排出等により環境への影響を起こさないように注意する。少量の場合には、乾燥砂、おがくず、ぼろきれ等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、周囲を土砂等で覆って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。

封じ込め及び浄化の方法/機材 : 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置すること。漏出物は密封できる容器に回収し安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて回収する。大量の流出は盛土で囲って流出を防止する。スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども河川への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。着火していないドラム缶、設備等に放水し延焼・加熱・破裂の防止に努める。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 : 換気のよい場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。取り扱い後は手・顔等はよく洗い休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発散させない。容器の移し替えはしない。高温物、火花、火炎との接近および過熱を避ける。吸入、眼や皮膚への接触を防ぐため、適切な保護具を使用する。

局所排気/全体換気 : 屋内作業での使用の場合は局所排気装置を設置する。

保管

技術的対策 : 直射日光を避ける。火気、熱源から遠ざけて保管する。

適切な保管条件 : 通風のよい乾燥した冷暗所に保管する。容器は密閉し、蒸気の発生を防ぐ。強酸性物質、酸化性物質や過氧化物類と同一場所に保管してはならない。

8.ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 本製品に作業者が直接触れたり、ばく露したりしないような配慮をすること。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。屋内作業の場合は、必ず密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。全体換気装置を併用することが望ましい。

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値

2 mg/m³ (最大許容濃度) (水酸化ナトリウム、水酸化カリウム)

ACGIH勧告値

STEL 2 mg/m³ (水酸化ナトリウム)

TLV-TWA 2 mg/m³ (水酸化カリウム)

保護具

呼吸器の保護具 : マスク
手の保護具 : 不浸透性であり、且つ丈夫な保護手袋 (材質はポリエチレン、ポリプロピレン、シリコン)
眼の保護具 : 安全ゴーグル、保護面
皮膚及び身体の保護具 : 耐溶剤性の保護衣と安全靴
: TWA 労働者が、1日8時間及び週40時間程度で日常的にばく露しても、悪影響が現れないであろうと判断される濃度

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 : 液体

色 : 液体青色透明

臭い : 特異臭

pH : 13-14 (25°C 原液)

融点/凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火温度 : データなし

燃焼性 : 該当情報なし

燃焼または爆発範囲の上限/下限 : データなし

水に対する溶解度 : 易溶

分解温度 : 該当情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件で安定

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし

刺激性 : データなし

12. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水性環境有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って処理を行うか委託すること。

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

容器を廃棄する場合は、臭気がなくなるまで十分に水洗する。

14. 輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

陸上輸送 : 該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に従うこと。

航空輸送 : 航空法に従うこと。

15. 適用法令

消防法 : 該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 水酸化ナトリウム 水酸化カリウム

PRTR法 : 該当せず

水質汚濁防止法 : BOD COD

記載内容の取扱い

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。